

最新のマルウェアに対応した高い防御を提供

振る舞い分析 & グレー判定で 既知・未知の脅威からも ビジネスを防御

はじめに

デバイスに負荷をかけず、 最新のエンドポイントセキュリティを実現

働く環境の多様化や、深刻化する脅威により、従来の境界型防御だけではなく、あらゆるデバイスを守るエンドポイントセキュリティが求められています。

Webroot SecureAnywhere® Business エンドポイントプロテクション（以下、WSABEP）は、未知の脅威でも振る舞い分析とグレー判定による監視を行うクラウド型エンドポイントセキュリティです。定義ファイルを使わず、リアルタイムに脅威情報が更新されるため、社内外で最新の情報で端末を保護することができます。

本資料では、WSABEP の導入により、PCおよびネットワークに負荷を与えずに最新のエンドポイントセキュリティを実現した企業の事例をご紹介します。

INDEX

| | |
|---|----|
| はじめに | 1 |
| デバイスに負荷をかけず、最新のエンドポイントセキュリティを実現 | |
| 1. 導入の背景 | |
| 端末への大きな負荷 | 4 |
| 課題1：ウイルス定義ファイルの更新に時間が掛かる | 5 |
| 課題2：古いセキュリティサービスの契約が続いていた | 6 |
| 2. Webroot SecureAnywhere® Businessが選ばれた理由 | |
| 定義ファイルを使わず、最新の脅威情報で高いセキュリティを実現 | 8 |
| メリット1：最新のセキュリティ情報にキャッチアップ | 9 |
| メリット2：端末に負荷を掛けない | 10 |
| メリット3：サブスク型クラウドサービスのため効率的 | 11 |
| 3. 導入の効果 | |
| 効果1：既知・未知のマルウェアに対する高い防御 | 13 |
| 効果2：定義ファイルを使わないためPC負荷を軽減 | 14 |
| 効果3：移行も簡単で、運用も効率化できた | 15 |
| 効果ビフォーアフター | 16 |
| おわりに | 17 |
| 定義ファイルを使わず、最新のセキュリティ情報で端末を保護 | |